

広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

■ 内容

【1.事例検討会】

骨肉腫で外来通院から在宅緩和ケアに移行した 20代患者の事例

・司会進行 広島大学病院医師 林 優美(緩和ケア部門)

・パネリスト

広島大学病院医師	古田 太輔 (整形外科)
広島大学病院看護師	織田 浩子 (がん治療センターがん相談員)
やまぐちホームケアクリニック院長	山口 剛
IGL訪問看護ステーション看護師	山本 麻衣 (敬称略)

【2.グループディスカッション】

・テーマ

- ・外来から在宅移行する際の問題点と対策
- ・介護保険が使えない年代の問題点と対策
- ・その他課題等

病院と地域のつながりを深めよう

■ 開催日時

平成30年9月29日(土) 15:00~16:30

■ 開催場所

広島大学病院 臨床管理棟3階 3F1会議室

■ 対象者

がん診療に携わる医師・看護師・薬剤師等 医療従事者

■ 申込締切日 : 平成30年9月13日(木)

参加申込は、広島大学病院医療支援グループ/患者支援センターへお知らせください。
メールアドレス : byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp 電話番号 : 082-257-5934

《主催》広島大学病院(都道府県がん診療連携拠点病院)

《共催》中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン